

特集 みんなの子ども食堂

子ども食堂は、無料もしくは低額で食事が提供され、子どもが一人で行けて、みんなでごはんを食べることができる場所です。この取り組みは、食事を十分に取れない子どもたちを支援する目的で始まりましたが、現在は、子どもだけでなく、その家族や地域住民など、さまざまな世代の人々が共に食事を楽しみながら交流できる「地域の居場所」にもなっています。今号では、区内にある子ども食堂と、運営に携わる人たちをご紹介します。皆さんも、笑顔あふれる子ども食堂に行ってみませんか。

図子育て支援課子育て支援推進係(☎5722-8723、☎5722-9328)

① まると食堂

令和5年6月にスタートした子ども食堂。当時の菅刈小学校PTAメンバーが運営を始めました。親子でボランティアに参加するかも多いほか、地域企業から食材の寄付を受けるなど、地域が主体となって居場所づくりを行っています。

☎菅刈住区センター(青葉台2-10-18)
図原則毎月第1日曜日11:30から
図☎070-8373-0336



異世代交流のきっかけの場にできたらと考えています

菅刈地域は、高齢者や1人暮らしのかた、若い世代のかた、家族で遠方から引っ越されてきたかたなど、さまざまなかたが暮らしています。そういった方々が新しいコミュニティ作りのために、地域の人との関わりをきっかけの場にできたらいいなと思っています。

災害など、もしものことが起きた時のために、みんなで助け合える環境をつくることも目標です。ここで出会う人とまち中であいさつしたり、違う小学校の子と仲良くなったりと、つながりが広がっているのを感じています。これからも、もっと広がっていけばいいと思います。

代表・高橋さん(左)、石井さん(右)



参加者に聞きました！

小学校低学年の子ども声

学校ではあまり遊ばないお兄さんやお姉さんたちと話したりすることがとても楽しいです。ごはんもおいしいけど、食後にみんなで遊ぶのがとても好きです。次もまた行きたいです！



2人の子どもがいるお父さんの声

最初は入りづらい場所かなと思っていましたが、来てみたら、娘と同じ学校の高学年のお兄さんやお姉さんたちが楽しそうに遊んでいる姿がすごく印象的でした。娘も自然と輪に入って一緒に遊んで、とてもすてきな居場所だと思っています



まると食堂の1日に密着！ 子ども食堂にごはんが並ぶまで

9:00 集合



調理手順が細かく書かれた、作業工程を確認

9:30 煮沸処理



全ての調理器具、皿(60食分)を煮沸処理

10:00 調理開始



約20人のボランティアが、各担当に分かれ調理開始

11:30 料理の完成



調理後、盛り付け

メニュー
・アルファ化米を使ったチャーハン
・ホイコーロー
・春巻き
・中華風コーンスープ

13:30 お見送り



スタッフに見送られ、子どもたちは元気いっぱい子ども食堂を後にします

13:00 自由時間



食事後、血洗いは自分たちで。自由時間は、ここでできた友達と楽しい時間を過ごします

12:30 「いただきます！」



できたてのごはんを前に、みんなで「いただきます」。廊下まで元気な声が響きます

12:00 子どもたちが集まりました



受け付けを済ませたら、手を洗います

② こどもば食堂 @ 上目黒

平成28年から始めて9年目になる子ども食堂。小さい頃から来ていた子どもが、大きくなってボランティアとして参加すること増え、学生と子どもたちが楽しく交流できる居場所です。NPO法人こどもばが主催し、こどもば食堂@中央町、かみめみんなの食堂も実施しています。

☎上目黒住区センター(祐天寺2-6-6)
図原則毎月第4木曜日17:30から
図横浜☎090-4169-2359



一番は、また来たいと思える場所にしたいです

ごはんを残しちゃいけないとか、これしちゃうって規制がない、自由で楽しい場所にしたいですね。

これからでもできる範囲で、とにかく続けていくことを目標にしています。

代表・横山さん



③ すずめ食堂

すずめのお宿緑地公園前の大岡山東住区センターを主な活動場所として、スタートした子ども食堂。親子での参加が多く、運営スタッフとの距離が近い居場所です。子ども食堂開催のほか、外遊びを支援するあそぼう会や、無料塾も支援しています。

☎大岡山東住区センター(碑文谷3-15-5)
図原則毎月第2土曜日11:00、第3火曜日18:00、第4金曜日18:30から
図☎090-8582-7651



楽しそうな所があるから一緒に行こうとみんなにそう思ってもらえる場所にしたいです

食事を提供する場だけで終わらず、参加する大人や子どもたち自身が主催者になって、周りの人たちをサポートできるようになることを目指したいですね。

困っているからサービスを受けるのではなく、自分たちもこの場を一緒につくっていく一員なんだと思ってもらえたらうれしいです。

副代表・神代さん



④ いいほいくえん食堂

令和6年4月にスタートした、認可保育所・いいほいくえん自由が丘が運営する子ども食堂。訪れたパパ・ママが保育士さんに、子育ての悩みや普段の様子をお話できるなど、子どもも大人も安心できる居場所です。

☎いいほいくえん自由が丘(緑が丘2-16-11)
図月1回土曜日18:15から
図☎5731-4040



世代間の関わりが持てるような場所になれるよう、チャレンジしていきます

テーブルや椅子、食器などがいつも保育園で使っているもので、小さい子が来た時にも安心して過ごせることが特徴です。

今後は、近所のおじいちゃんやおばあちゃんが来たり、小学生から高校生がお手伝い感覚で来たりできるような場にしていきたいです。

いいほいくえん自由が丘・職員の皆さん



⑤ おやこカフェ

コロナ禍に、居場所がなく困っている子どもたちを支えたいと始まった子ども食堂。開催施設に屋上テラスがあるのが特徴で、外で遊んだり、中でお話ししたり、思い思いに過ごすことができる居場所です。

☎ミチノサキ(目黒本町4-3-14)
図原則毎月第3日曜日12:00から
図☎090-8815-1092



気軽に来ていただける場所にしたいので予約制にはしていません

ふらっと来て、子どもも大人も自分のままで過ごせる場所を作りたいです。なので、利用者とボランティアの垣根はなく、みんなでごはんを作ったり、遊んだり自由に過ごせる工夫をしています。

自分も他の人も大事にできる、そんな人をどんどん増やしていきたいなと思って、そういう雰囲気大事にしていきたいです。

代表・善本さん



子ども食堂	主な実施場所	主な開催日時	問い合わせ
④かみめみんなの食堂	上目黒住区センター(祐天寺2-6-6)	毎月第3土曜日11:30から	NPO法人こどもば(横浜☎090-4169-2359)
④こどもば食堂@中央町	中央町社会教育館(中央町2-4-18)	毎月第2金曜日17:30から	
⑤おでらごはん	明顕山祐天寺(中目黒5-24-53)	不定期	祐天寺(☎3712-9960)
⑥Pistaのこども食堂目黒本町	目黒本町社会教育館(目黒本町2-1-20)	毎月第1金曜日18:00から	NPO法人Pista(☎5726-9109)
⑨ECO膳みんなの食堂	東根住区センター(東が丘1-7-14)	毎月第4土曜日11:00から	ECO膳(王☎080-6505-8820)
⑩とりつだい処	八雲住区センター(八雲1-10-5)	毎月第3日曜日12:00から	なかよし食堂(インگران☎070-3193-7956)
⑫みどりがおかむりょう食堂 zendama	緑が丘1-11-8	毎月第3土曜日11:00から	一般社団法人日韓農水産食文化協会(☎6233-7867)

※子ども食堂利用には予約が必要です(一部を除く)。活動の詳細は、区図(コード①)をご覧ください。各子ども食堂へお問い合わせください。

あなたも子ども食堂に参加してみませんか？

食材を寄付して参加

食品などの寄付を希望するかたは、各子ども食堂へお問い合わせください。

ボランティアとして参加

子どもが好きで、料理やお菓子作りも好きだったので、生かせたらいいなと思ったのがきっかけです。アルバイトだとお客さんと会話することはほとんどないですが、子ども食堂では、自分で作ったものを食べてもらいながら一緒に話せて、喜んでもらえるのがうれしいです。ぜひ、皆さんも参加してみてください

ボランティアを希望するかたは、各子ども食堂へお問い合わせください。



子ども食堂に関する区の支援制度は、子育て支援課にお問い合わせください。